2026年11月13日

各　位

会 社 名　　株式会社フォーシーズＨＤ
代表者名　　代表取締役社長　　松野　博彦
（コード番号　3726　スタンダード市場）
問合せ先　　取締役ＣＦＯ　　浦　　太介
（TEL．092-720-5460）

株式会社ネクスタとの系統用蓄電池設備における包括売買契約締結及び低圧系統用蓄電所事業への取り組みについてのお知らせ

当社は、2026年11月13日の取締役会において、低圧系統用蓄電所（以下「低圧蓄電所」といいます。）事業の推進を目的として株式会社ネクスタ（以下「ネクスタ社」といいます。）と、系統用蓄電池設備の包括売買契約（以下「本契約」といいます。）を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

ネクスタ社とは、2024年12月に同社から太陽光発電事業に関する提案を受け、同社が保有する太陽光発電所用地の権利 94 物件を当社子会社が譲り受けたことをきっかけに、太陽光事業にまつわる協業を開始いたしました。

１．本契約の目的

近年、再生可能エネルギーの導入拡大や電力需要の構造変化を背景として、電力の安定供給及び需給バランスの維持に対する重要性が高まっております。特に、太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーは、天候や時間帯によって発電量が変動する特性を有していることから、電力の需給を調整するための蓄電池の活用が注目されております。

制度面においても、需給調整市場及び容量市場等の整備が進み、蓄電池を活用した電力需給調整や供給力確保に向けた事業機会が広がっております。また、2026年度からは、低圧で系統に接続する蓄電池等の低圧リソースについても需給調整市場への参加が可能となり、従来の高圧・特別高圧を中心とした蓄電所事業に加え、低圧系統用蓄電所事業についても新たな参入機会が生まれております。さらに、生成AIの利用拡大やクラウドサービスの普及に伴うデータセンターの新増設等により、今後も電力需要の増加が見込まれる一方、再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、電力系統における需給調整力の確保が一層重要になるものと考えております。このような環境の変化を踏まえ、当社は低圧蓄電池を活用した電力関連事業を今後の成長領域の一つと捉え、低圧蓄電所事業への参入及び事業基盤の構築を進めてまいります。

当社は、これまでに取得・保有している低圧太陽光発電所物件（以下「保有物件」といいます。）についても、低圧蓄電池設備の導入及び系統連系を行うことで、従来の高圧及び低圧太陽光発電所、高圧蓄電所等の物件保有にとどまらない新たな事業活用の可能性があると考えております。具体的には、既存の低圧太陽光発電所用途として保有しております物件を低圧蓄電所として活用できる状態に整備することにより、物件の用途及び活用の幅を広げるとともに、将来的な収益機会の創出及び保有資産の価値向上につなげることを目指しております。また、保有物件の活用に加え、新たな低圧蓄電所案件の情報収集、用地の取得及び蓄電池設備の導入を一体的に進めることで、新規案件の開発にも取り組んでまいります。既存資産の有効活用と新規案件の継続的な開発を組み合わせることにより、案件の積み上げを図り、低圧蓄電所事業の継続的な拡大を目指してまいります。

本契約は、こうした事業方針を具体化するため、低圧蓄電池設備の調達から設置、試運転及び系統連系までを含む設備取得の枠組みを構築するものであり、当社における低圧蓄電所事業の推進に向けた取り組みの一環となります。

２．契約の内容

本契約は、低圧蓄電池設備における113物件について、設計、調達、運搬、設置工事、試運転、許認可等の取得及び系統連系を完了させた設備一式を取得するための包括売買契約です。設備の売買価格は、個別案件の内容に応じて支払条件等を定めます。なお、対象案件は、案件ごとの確認手続を経て確定する仕組みとなっております。本事業スキームにおいては、契約の相手方である株式会社ネクスタが株式会社HINAに対し、低圧系統用蓄電所の建設工事を依頼することとなります。同日開示の「特別損失の計上並びに通期連結業績予想と今期実績値との差異に関するお知らせ」記載の通り、当社連結子会社であるファンタスティックフォー第１号合同会社は株式会社HINAに対し、1物件当たり約750万円の太陽光発電所に関する工事代金を前渡金として既に支払っており、当該前渡金を本件低圧蓄電所の建設工事費用に充当することとしております。これにより、当社グループは、支払済みの前渡金を活用して低圧蓄電所を開発し、売電又は販売により収益を獲得することを目指してまいります。低圧蓄電所の販売価格は、現在の市場において1物件当たり1,800万円から3,000万円程度の幅で取引されておりますが、当社といたしましては2,000万円前後を最低限の販売価格と見込んでおり、市場相場の高価格帯を目指し交渉してまいります。なお、平均すると 1 物件あたり 1,000 万円の利益を確保することを見込んでおります。ただし、低圧蓄電所は2026年度から需給調整市場への参加が可能となった新しい事業領域であることから、売電単価、販売価格、工事費用及び回収までの期間等は、今後の市場動向や個々の物件の条件により変動する可能性があります。

３．相手先の概要

（1）名称	株式会社ネクスタ	
（2）所在地	東京都小平市小川町二丁目１１５７番地の８	
（3）代表者の役職・氏名	代表取締役　兼子　修一	
（4）事業内容	株式及び有価証券の投資、保有、運用及び売買	
（5）資本金	990万円	
（6）設立年月日	2020年9月17日	
（7）上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	当社連結子会社は、ネクスタ社から太陽光発電所用地の権利を譲り受けるなど、太陽光発電所に係る仕入及び販売の取引実績があります。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません

４．今後の見通し

今後は、本契約に基づき、ネクスタ社と連携しながら、当社が既に保有する物件への低圧蓄電池設備の導入及び系統連系に向けた検討・手続きを進め、既存保有資産の有効活用を図ってまいります。蓄電所としての事業活用を通じて、保有物件の活用の幅を広げ、収益機会の創出及び資産価値の向上につなげていく方針です。また、既存保有物件の活用に加え、新規の低圧蓄電所案件についても、候補物件の情報収集、用地の取得、蓄電池設備の導入及び系統連系等を通じた仕入れ・開発を推進し、案件の継続的な積み上げによる事業規模の拡大を目指してまいります。

当社は、既存保有資産の有効活用と新規案件の開発を両輪として、低圧系統用蓄電所事業の具体化及び事業基盤の構築を進めてまいります。今後、個別案件の確定及び事業の進捗状況に応じて、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

なお、本契約に基づく個別案件の確定及び事業の進捗状況によって、事業規模及び業績への影響は変動する見込みであり、現時点における当期業績への影響は未定です。今後、業績に重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上